

平成29年度 地域医療体験研修 報告集

研修日 平成29年8月23日（水）～8月25日（金）



福島県会津保健福祉事務所
福島県南会津保健福祉事務所



目 次

1	実施要項	1
2	スケジュール	2
3	地域おこし協力隊との交流	3
4	特別養護老人ホーム「かねやまホーム」 事例検討・ケアカンファレンスの見学等	4
5	医療保健福祉従事者との懇談会	6
6	只見町国民健康保険朝日診療所 外来診療見学 等	7
7	福島県立南会津病院 概要説明・施設見学 等	8
8	学生によるディスカッション	9
9	会津中央病院 視察 等	10
10	診療所医師による講話	12
11	課題研究のまとめ・発表	13

1 実施要項

1 研修の目的

地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療等の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、過疎・中山間地域における地域医療等や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

2 開催日

平成29年8月23日（水）～8月25日（金）〔2泊3日〕

3 対象者

地域医療に関心を持つ医学部学生（学年不問）

4 参加者

13名

5 研修内容

（1）地域医療現場等の視察

会津・南会津地域の診療現場及び社会福祉施設を視察する。

〈視察先〉特別養護老人ホーム「かねやまホーム」、只見町国民健康保険朝日診療所、福島県立南会津病院、会津中央病院

（2）地域住民・地域医療等に従事する医療保健福祉従事者との懇談会

地域住民からは地域住民が医療に期待すること、上記機関の医療保健福祉従事者からは地域医療に関する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行う。

（3）奥会津地域での生活に触れる

三島町で生活し、活動している地域おこし協力隊員から、活動の内容や生活をしていく上で困っていること、助かっていることなどの話を聞くことで、過疎・中山間地域での生活の現状に理解を深める。

また、山ぶどうストラップ作り体験を通して奥会津地域の文化に触れる。

（4）課題研究及び発表

あらかじめ提示する課題について研究する。

また、地域医療体験研修を通して、学んだこと、考えたことをまとめ発表する。

6 宿泊場所

玉梨温泉 恵比寿屋（金山町）、民宿 舘乃湯（下郷町）

2 スケジュール

月日	行 程	場 所
8月23日 (水)	三島町地域おこし協力隊との交流	三島町交流センター山びこ
	特別養護老人ホーム「かねやまホーム」 事例検討・ケアカンファレンスの見学 等	金山町 特別養護老人ホーム「かねやまホーム」
	医療保健福祉従事者との懇談会	金山町 玉梨温泉 恵比寿屋
8月24日 (木)	只見町国民健康保険朝日診療所 外来診療見学 等	只見町 国民健康保険朝日診療所
	福島県立南会津病院 概要説明・施設見学 等	南会津町 福島県立南会津病院
	学生によるディスカッション	下郷町 民宿 館乃湯
8月25日 (金)	会津中央病院 視察	会津若松市 会津中央病院
	病院医師による講話	
	診療所医師による講話	会津若松市 福島県会津保健福祉事務所
	課題研究の発表・まとめ	

3 地域おこし協力隊との交流

【 日 時 】 8月23日(水) 10:30~12:30

【 場 所 】 三島町交流センター山びこ

【 目 的 】 三島町で活動する地域おこし協力隊員と交流し、過疎・中山間地域での生活の現状について理解を深める。

【 内 容 】

1 地域おこし協力隊員の活動紹介



2 山ぶどうストラップ作り体験



参加者の声(体験レポート等より)

- 若い人たちが三島町に住むようになったきっかけ、またそこでの暮らしをどのように感じているのかを知ることができて良かった。
- 田舎に移住した若い人の生活の実情を聞くという滅多にない機会を得ることができて良かった。
- 協力隊の方の経験が、自分が地域に住むときの感想になるのだろうという予想ができた。
- 医療とはまた別の観点から地域での生活について深く知ることができて良かったと感じた。
- 山ぶどうストラップ作りという地域工芸品作成を経験できて楽しかった。

4 特別養護老人ホーム「かねやまホーム」 事例検討・ケアカンファレンスの見学 等

【 日 時 】 8月23日（水） 13：00～16：00

【 場 所 】 金山町 特別養護老人ホーム「かねやまホーム」

【 目 的 】 利用者とのコミュニケーションや事例検討等を通じて、コミュニケーション能力を養うとともに、過疎地域における医療・介護の現状や、関係機関の役割と連携について理解を深める。

【 内 容 】

- 1 特別養護老人ホーム「かねやまホーム」の概要説明
(かねやまホーム 横山施設長より)
- 2 施設見学・利用者とのコミュニケーション



○学生が3班に分かれ、ホーム内の各ユニットの行事（運動会や和風パフェ作り、カレー等の料理作り）に参加しました。

3 事例検討

テーマ：「認知症のある高齢夫婦の在宅生活を継続するための支援」



○各グループには、助言者として地域包括支援センターの職員の方々等にも入っていただきました。

4 金山町国民健康保険診療所医師の回診見学



○金山町国民健康保険診療所 押部先生の回診の様子を見学させていただきました。

5 ケアカンファレンスの見学



○実際の事例でのケアカンファレンスを見学しました。

参加者の声(体験レポート等より)

- 普段、介護の仕事について深く知る機会はなかったが、介護は医療と深く結びつくものであるので、今回その介護の現場を知ることが出来て良かったと思う。
- 入所者の方を様々な面から支援していこうとする職員の方の姿をみれてとても良かった。
- スタッフの皆さんが入所者の方を大切にしていることが伝わった。
- マンパワーが少ないというものを補うために、医療関係者が工夫を凝らしている姿がとても印象的だった。
- その人らしい生活が送れるように、介護士・看護師・栄養士などのスタッフがチームとなって、コミュニケーションを大切にしている、皆さん笑顔がすてきでした。
- 入所者の方々が皆笑顔で接してくれたことが印象に残った。
- 職員の方が方言を交えて入所者の方とスムーズに話していたので見習いたいと思った。

5 医療保健福祉従事者との懇談会

【 日 時 】 8月23日（水） 18：00～19：30

【 場 所 】 金山町 玉梨温泉 恵比寿屋

【 目 的 】 地域の医療保健福祉従事者との意見交換を通じて、地域医療への見識を深める。

【 内 容 】

○金山町国民健康保険診療所の押部先生や、かねやまホームの職員の方々と、夕食を兼ねた懇談会・意見交換会を行いました。



金山町国民健康保険診療所
押部先生 あいさつ



参加者の声（体験レポート等より）

- 日常生活の悩みだけでなく、出産・育児・教育といった幅広い観点での会津の暮らしについて知ることが出来た。
- 奥会津の診療の実態について、医師の本音や医療職の方々の熱意を感じられて、今後の学習の意欲につながられたと思う。

6 只見町国民健康保険朝日診療所 外来診療見学 等

【 日 時 】 8月24日（木） 9：00～13：00

【 場 所 】 只見町 只見町国民健康保険朝日診療所

【 目 的 】 外来診療の見学や通院患者とのコミュニケーションを通じて地域医療の現状や住民の考えについて理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を養う。また、診療所の概況説明を通じて、へき地診療所の持つ役割や他関係機関との連携について知識を深める。

【 内 容 】

1 外来診療の見学・通院患者とのコミュニケーション

○学生3名で1グループとして、通院患者さんへコミュニケーションを図り、病気や普段の生活について伺いました。また、了解を得た患者さんに付いて診療の様子を見学させていただきました。



2 診療所の概要説明・昼食を取りながらの診療所医師との懇談



参加者の声（体験レポート等より）

- ・外来に来ている患者の方と積極的に話せたことに加え、実際の外来での診察や採血の様子を見れたことがとても良かった。
- ・患者さん目線での医療の見方と、医療者サイドでの医療の見方の両方の視点からの意見を聞くことができた。
- ・地域にたった1つの診療所、決して医師も多くないという点での難しさ、やりがいを学べて良かったです。
- ・医師との意見交換では、自分の予想していた答えとは相反する言葉が返ってくる事が多く、自分のへき地医療に対するステレオタイプな考え方を改めるいい機会となった。

7 福島県立南会津病院 概要説明・施設見学 等

【 日 時 】 8月24日（木） 14：00～16：15

【 場 所 】 南会津町 福島県立南会津病院

【 目 的 】 ①病院の概要説明・院内視察等を通して、へき地の中核病院の役割や現状等について見識を深める。
②地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談などを聞き、意見交換を行い、地域医療への理解を深める。

【 内 容 】

1 病院の概要説明（福島県立南会津病院 佐竹院長より）

2 医師との意見交換



3、施設見学



参加者の声（体験レポート等より）

- へき地医療と先端医療の中間的な立場での医師の意見を積極的にかつ具体的に聞くことができたのは良かった。
- 医大などの多くの医師がいる病院と比べると、医師の数が少ないので、足りない科の医師を補うために、マニュアルを作成していることなどがとても印象に残った。

8 学生によるディスカッション

【 日 時 】 8月24日（木） 17：00～19：00

【 場 所 】 下郷町 湯野上温泉 館乃湯

【 目 的 】 提示するテーマについて、参加学生間でディスカッションを行い、地域医療についての見識を深める。

【 内 容 】

☆ テーマ A「地域の医師不足解消の処方箋」
B「地域の住民の健康を守る処方箋」

〈座 長〉 福島県立医科大学医療人育成・支援センター 中島 大 先生

〈助言者〉 一般社団法人南会津郡医師会 馬場会長
福島県会津保健福祉事務所 小谷所長
福島県南会津保健福祉事務所

○学生が2班に分かれて、KJ法により問題点をまとめ、発表を行いました。



参加者の声（体験レポート等より）

- KJ法というやり方の有用性が分かったような気がする。学生間から色々な意見が出て、自分でも驚いたものもあったし、共有できたのは良い経験だった。
- 積極的なディスカッションで、個人が2日で感じた地域医療の問題点を述べられていて、建設的であった。

9 会津中央病院 視察等

【 日 時 】 8月25日（金） 8：30～11：00

【 場 所 】 会津若松市 会津中央病院

【 目 的 】 病院の概要説明や施設見学などを通して、へき地医療を支援する病院の役割について知識を深める。

【 内 容 】

1 病院の概要説明（会津中央病院総務課 梅宮係長）



2 病院内視察



3 病院医師による講話

講師：会津中央病院 佐竹秀一 医師

演題：「会津地域の地域医療」

○只見町朝日診療所などで勤務し、地域医療に携わってきた佐竹医師より会津地域の地域医療について講話をいただき、意見交換をしました。



参加者の声（体験レポート等より）

（概要説明・病院視察）

- 会津地域ならではのドクターカーによるドッキングシステムが、地方の特性を活かした医療の仕組みであり、とても効率的であると思った。
- 山間部が多く、距離的制約が多い条件下で、患者の命を救うための取り組みや災害医療への対応など、1日目や2日目ともまた違う、大病院としての地域医療への見方を知ることが出来た。

（病院医師による講話）

- 勉強がとても大事であるということを改めて実感できて良かった。最前線で地域医療に携わっている医師の話を聞いて良かった。
- 大病院と診療所との連携（特に救急時）はやはり大事であると思った。
- 会津の地域医療について深く学び、地域医療では大病院から小さな診療所までの連携や、それぞれの役割が重要なのだということを学ぶことができた。
- 専門医であってもへき地で働くには多くの知識が必要だと気づいた。
- 「知識を持つだけの医師になるのではなく、優しい心をもった医師になって欲しい」という言葉は、医師という職につく上でとても重要であるように感じ、忘れてはならないことだと思う。

10 診療所医師による講話

【日時】 8月25日（金） 11:15～12:15

【場所】 会津若松市 福島県会津保健福祉事務所

【目的】 会津地域で在宅医療に取り組んでいる医師による講話を通して、地域における在宅医療の現状等について理解を深める。

【内容】 講師：耶麻郡猪苗代町 小川医院 今田かおる 医師
演題：「会津地域における在宅医療の取組について」



参加者の声（体験レポート等より）

- ・終末期医療について考えるための機会はとても少ないので、自分の運命も考えられるようなとても貴重な機会であった。
- ・自分の中で新しい概念であったため、医療に対する視野が広がった。
- ・在宅医療という自分にはなかった新たな視点を取り入れ、それについて学ぶことができたことがとても良かったと思う。今回の経験からさらに在宅医療について学びたいと思った。
- ・自宅で人生の最期を看取るということについては、今まで自分で考えたことがなかったので、とても新鮮であり、在宅医療についてさらに興味がわいた。
- ・今まで医療という言葉から終末期の医療はイメージされなかったので、新たな視点を得られるとてもよい機会であった。
- ・これから増える高齢者たちが、自分が必ず迎える「死」に対しての選択肢をより良いものにしようと骨を折っている医療者がいる一方で、それを扱う医療者が少ないために、限界があるという事実が特に印象に残った。

1 1 課題研究のまとめ・発表

【 日 時 】 8月25日（金）12：15～15：45

【 場 所 】 会津若松市 福島県会津保健福祉事務所

【 目 的 】 地域医療体験研修に参加して感じたことや学んだことをまとめ、発表し、学びを共有する。

【 内 容 】

○テーマ ①今回の研修の感想 ②地域医療に必要とされる医師
〈座長〉：福島県立医科大学医療人育成・支援センター 中島 大 先生



参加者の声（体験レポート等より）

- 自分の発表と比較して、自分にはない実習に対するとらえ方をした参加者の意見が特に印象に残った。
- 今回の地域実習のまとめとして、自分の考えをまとめられたことに加え、他の人の発表を聞き、視野が広まったことがとても良かった。
- 総合病院、診療所、在宅診療と様々な立場で働く医師の話聞き、それぞれの場所で求められることの相違点と共通点について知ることが出来た。



地域医療体験研修 報告集

平成29年11月16日 発行



福島県 会津保健福祉事務所
福島県 南会津保健福祉事務所
総務企画部 総務企画課
電話番号 0242-29-5506
FAX 0242-29-5509
aidu.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp